東洋平和の維持な基調さする帝の 東洋平和の維持な基調される帝の 東洋平和の維持な基調される。 東洋平和の維持な基調される。 東洋平和の維持な基調される。 東洋平和の維持な基調される。 東洋平和の維持な基調される。

ら歌歌歌歌歌歌歌を検討して見る必 に使つては自ら矢廊に立たればな のであるが、今後事態の歌殿如何

り か得べしさなと相響らす他力本願 を 果とて職職はごこまで支那に味方 を したのであらうか、職盟の態度が したのであらうか、職盟の態度が したのであらうか、職盟の態度が

を整の勝かんで 欲する所でもあ

大へさ海いて 本る、海軍は今迄さればとないか等の無限は次からさればとないか等の無限は次から

日曜月

聯盟脱退の奉告

宮参拜の養癬首相) 宮参拜の養癬首相と二十正式通告も終へたので養癬首相は二十正式通告も終へたので養癬首相は二十正式通告も終う。 選率告な為こころあつた(窓真は明治神宮参拝司標 率告するこころあつた(窓真は明治神宮参拝の養癬首相は二十

宗春、存文華、唐編亭、劉香九は、新京電話」意熱河軍の張從震、

けてゐる、こかして湯玉麟は治療が常民の反應は甚だしく後等は凡

これ等部隊の整頓につさめて これ等部隊の整頓につさめて

首相、神宮と多摩御陵へ

聯盟脱退と我海軍

海軍大佐

開

根

北千島から南臺灣まで守れたら

如何な大敵も恐れず

最近米人で歐洲の事情に通じて居 地でしたのは之が為ではあるまいか 地ではあるまい、英、佛の態度が急 はなるまではあるまいか

職席である

佛が中心さな

版百貨客

駐滿海軍部の幹部

柴田彌一郎、同海軍部附海軍中

所版製団 六六**町**藍武 建大 春一三六八記卷

### 行發日二月四 第 木 鈴 人行發 治代喜本稱 人輔網 悠武 村本 人剛印 地番一冊町園公東市連大 計報日洲滿社會式株所行餐

# 敞軍策動の途を完全に封鎖 安全を期す 南部長城線の禍根を一掃

昨夜より今暁にかけ 東方砲聲熄まず

三十一日年前一時極一火をなさめた敵は一日午後十一時一より折柄の屈明りなたよりに〇〇

○東方のわが陣地に黙し各方面と 「大り敵の野砲はわが○砲陣地正に入り敵の野砲はわが○砲陣地正に入り敵の野砲はわが○砲陣地正に入り敵の野砲はわが○砲陣地正に入りをできまった。 敵軍の大半

・ 性臓器であったさ ・ は死態し残兵の販売振りし飯る支 ・ は死態し残兵の販売振りし飯る支 ・ の震撃さ破弾のため飛ごその大半

京電話』〇〇に入城した岩田

東へるさころあつたが、右代表者
せらめた、本の形形村民の代表者を集め訓練を
右岸の歩哨線が所近村民の代表者を集め訓練を
右岸の歩哨線がある。 る砲撃について○○○の削線○○ 右岸の歩哨線を〇〇の線まで後退 秦皇島へ退却

る砲撃について〇〇〇の前線〇〇

藤中尉は案外輕徹で生命に名が質像したのみである、

ない模様である

皇軍後方攪亂督勵 蔣介石、拔き差しならぬ湯玉麟

逮捕命令を取消して

で纏め得るかは極めて疑問である 消鮮人な の直接の誘因なり

るなかつたゞけに十分の準備が

例なく、かつほご

張海鵬氏統率

の滿洲國軍

敗殘部隊整頓に

湯玉麟、沽源で努力

多数の総人従業が用してゐる關係上事に 間に大陸方針の てゐるが、大學路局での 鮮人企業員 を見てゐる 可否がの諸方法 鮮人從業員な養成してゐるので お、たゞ朝鮮競道局では早くよ

知識のある総人青牡年 れてゐるが、 就職難に慢む誤総の市出 

保等が中上最

齋藤首相

不田前書語館壁で共に自動車で実施 日前書語館壁で共に自動車で実施館に

園公訪問

断人のやう

なかいかいは

あるが、これ等熱河軍に對する熱 西方へご熱河省外に向って流れて で変の部下な彩ので職野を西方へ 世界戦争の教訓を研究せればなら經濟封鎖に就て論するには先つ 出發した行動である。

してヴェルサイ

ないでもよいでもようさいふ世 のった事態はさういふ世紀の為めに 造られてあつて決戦の事態ではない。であるからジャットランドの が、であるからジャットランドの はないであるからジャットランドの 封鎖しこれをして海外主変演出来海の出口が開発し が三髪も木つ紫像壁に吹っ飛んで下村忠助少佐はごも亡くなつたの であるが、この戦闘中に巡手戦艦 れごも貸けた優逸で擇ぶさころが しまつた、さういか風に皆戦争 巻きにして向ふの疲勢を待つて 戦争には勝つたけ

常女満飛行士もあつばれだが。 満洲出催の皇軍慰問を全てた上 かける旅に上つた佛國女流飛行家

来いたからされば、絵りに性が悪いたからされば、絵りに性が悪ないではないか。 難なる 経び出せば、きりがなかつた。

のため飛ごその大平 を着て、われがちに奏霊器に凄郷紅一千名並に来援甲 に殺戮と強戮の極に達し午後四時級一千名並に来援甲 に殺戮と強戮の極に達し午後四時をになり返走 は懸の結果、同地の販兵は秦皇島 て行進を起してる

七百名の鮮人從業員

皇軍損害尠し

就職難時代にこれは一大福音 關係筋が對策に腐心

あらゆる おらゆる て書餐の後、午後一時四十分継端を実務車業(肺役保護)以下 畑を見懸し再び大東旅館に引ぶし種類も実務車業(肺役保護)以下 畑を見懸し再び大東旅館に引ぶして 一種類も悪などの実内に依つて華

外相ご會談 丁士源氏內田

に贈り溥儀執政より駐日浦洲随 換五時辭去心が、氏は一旦新 後四時內田外相を訪び重要意見 兵少佐)二日出帆あめりか丸で 大少佐)二日出帆あめりか丸で 大少佐)二日出帆あめりか丸で

の自能は何だつたのだと大澤に会はせたのだ 、何がの級束でもれて はびが感じられた。

一日午前八時着列車にて一氏(滿鐶鐵路總局經理



一方では今天の関心を表しているよう。 「本郷のてある、歐洲向海洲特重物を検索である。 「本郷のてある、歐洲向海洲特重物を表しているようの、今には表面樂観なしてあるもの、今には表面樂観なしてあるもの、今には表面樂観なしてあるもの、今には表面樂観なしてあるもの、今には表面樂観なしてあるもの、今には表面樂観なしてある。 「本郷のてある、歐洲向海洲特重物を検索である。」

貿易對策 獨逸政府の 深甚の 注意 の 大連の 大手筋

たる青年園民同盟は横攻無き正義 線名養集部製成を銀行し宣言編領 終名養集部製成を銀行し宣言編領 が及び製造並に復貨の決定を行 が定を行している。 なこさになった、参加関係の主な

つて取引が甚大なる減少を来すが によって多少の影響を蒙る

青年國同 三日に血盟

の他の飼料の輸入にも概能の干渉

、 おったし、その電話を受けて、 かった晶子が、突然、あんな時間 い気がした。實際、この數年間、日は、彼女の一生の中でも、珍子

逸に於て消費せられ獨逸が最大のこのうち百萬嶋乃至百十萬嶋に移

人取残された文子は、 資紅な光線の海の中に、たゞ一

無論、ケベて

東 3 (41)

で盛大な融麗祭か行はれる、山崎、村上剛理事をはどめ演鑑検査のた姿で故山に縁つて行つた、この日午前八時より準職様合理が記録が満四郎氏、金谷条三郎氏の遺情は二日出帆あめりかえ

故國へ送る慰靈祭の繼牲者通過

は人速のいきれて巻せ 撃……婦人速の歩は自然にシなつて凝壊離ささなつ | 戦用品展、濃色ショールの一なつて凝壊部リや連鎖 | の洋装コレクション、新人見

なかついだ御山人、日の丸の一てゐるやうだの縁な人々も多いリユックサーこの世界は大

芋洗ふ如き混雑

射る射る婦人の瞳

浪速通りや連鎖街

# 日續きの

# 助春を歡ぶ群集模樣 くも洒落れ込む花曇り

ウ・ウインドのグリーン・クローズが淑女達の職質感に強烈な色目を投げる、街も郊外も春の讃歌にみちりとながら濶歩したす歌には起ケ瀧や電融は寒さから解放された人とで一ばいになり、連動館、深連町融店館に都人士の腕に微笑みかける――オーバーからスプリングへ表更へしたダンデイ達がトロットのリズムを目継ぎの嫁しいお休み、コンクリートの錦遊にユラノーと陽炎が振り、大空の青さがくつきりと潜み渡ると、 春は非常時を高れさせそうだ 連鎖質、浪速町蘭店街では

アよくも出たわ、出たわ星ケ浦 着早い花葉りなみせて天地さもに事**娘**してゐる よく知られてゐない景勝の地金橋三曜日つゞきの休みを利用しまた

を集めてるる、映画街の春い後草式演出が百パーセン

# 家に人はゐるか知ら

から明らてりことっ、 マー・である、 オルフ場も本年に入って が一位を占めたやうだである、 ゴルフ場も本年に入って が一位を占めたやうだである、 ゴルフ場も本年に入って が一位を占めたやうだがある。 本のアパートへ が一位を占めたやうだ 探ぐる

今朝の騒々しい

体みを當て込む

二日の飲みないて込んで外出する を製込んでゐるのがカフエー師や 意製込んでゐるのがカフエー師や でいる。ホールや味書館だ、けふ 感傷の世界 その吸引策を探ぐ 総州、山海鵬等々の第一線では決 に乗って来た浮わついた景氣だ。

て味ふこその出来の景氣だ 御野麒十日頃御幡京の御樂定 智に御参加中の高経宮殿下こ 響に御参加中の高経宮殿下こ 神野神に皇太后陛下の御

待望裡に開幕する

モビニウローの人の話である し変り和やかな明るい空氣でいた、一行百名、うち端

身上さて急がればならわなりだ。それでも速速が小包の

まで織いてごうやら消化されたが明の八時から夜の、それが朝の八時から夜の、それが朝の八時から夜の

【東京二日養】高松宮処殿下 御機嫌奉伺 高松宮妃殿下 新え電話』一日午後五時半新京 成内大馬時間学店繁調度・さや同 成内大馬時間学店繁調度・さや同 大し家人を脅迫一千四目齢間を強 大し家人を脅迫一千四目齢間を強 大し家人を脅迫一千四目齢間を強 はあります。 関下 関係常局において 酸ス(姓名不詳)を射殺逃走し

警視廳の特 日養】非常時局の帝都治

巴里出發

警官に追はれ 通行人を誤殺

千餘圓を强奪した 新京の二人組强盗

田東京に鎌谷の鎌宮である ||四女流飛行家マリーズイルズ夫 日本 佛女流飛行家

のす滿倶球場で擧行する

世界海軍の

明石中學辛勝

大阪

員滿軍の混合白兵

西の風

相子波 邊(質)
一型 山 下(滿新)
久 甫 (滿)
二型 立 石 (質)
安縣弟 (質)
三型 小 池 (滿)
縣 川 (滿)
整磐 原 (黄)

獨豆戰鬪艦進水

一一一時

田



シュバリエの「今晩愛して頂が倒ち生年でリー 町も生氣ついて来た、モーリス・

り昨日輪郭したが野、ロンドン郷地のた

とり入れた、飛躍キワ線映画がいて編を削りあつてぬる、事態 女性の體育に

東博士の歸朝談

各縣より選定

等は孫称、陸軍開省合議の結ね左民五百名の募集地域其の他移住地 自衛移民

一講究を要する 一講究を要する。 一講究を要する。

州國代表出發

未だ毎日五千行嚢は下らぬ

小包郵便課を覗く

小包時代

スケヂユール決定し グ戦 日の途についた

奉仕として大廉賣を致します多少なり存在を認めて頂ける様に、他か仕込の百姓商賣も滿一年を迎

御禮申上ます就きましては真に御屋として將た又支那素麵屋として

か害がないではありま 地元の人達のため悪し せん、私典だつて第一

持てあまし無味で課

この小包記念は満

五日から始まる 

以太太

完成な見、近く国務院會議の決 全滿鑛業會議 関係信息の打合せも済み草案 五月初旬新京で

近江町一〇西廣場)映樂館積 英和タイピスト學院

みか

名物となか中舗

賣 所

と屋特製

電ホのハ五番

(通り相婁一圓十錢)

既製靴は は既製動



方約百里佳木斯南方十八里の地點汽船で出雲、移住地はハルビン東 Name Shirt And State of the Sta

船車連絡の

切符賣りに

まごつく

氏のこぼし話し 氏のこぼし話し

脚の一行は二日朝を大より来連直を撮影所大車や制部長小田瀬太郎技術をより来連直

けさ來連撮影

倉紗

向井传助

江

(34)

なかつた父媛がは、一目見たばかりんでは、それまで女に目しくれいのでは、それまで女に目しくれいのでは、

いっけるだんちゃれえや」 さ、次 へ上つてゐるらしい。まづ當分よつかり聞めて、女中さんたちは博

割りの大り切半類品等は人氣な果らへ質出中一割より三割り特に五

服の春の嗽州會な能し中である。
一門店は四月一日より三日迄縣人服、一門店は四月一日より三日迄縣人服、一門店は四月一日より三日迄縣人服、一門店は四月一日より三日迄縣人服、一門店は四月一日本町端人子供服のモリタや裏 モリタやの 春の婦人服陳列會

四月番組

洋畵はメ

就木材味杉丸太

神ベニア板卸小賣

機文鑑館の遺製店イワキ町ち棚ざらへ賣出し ちょぶやの



國

試驗!

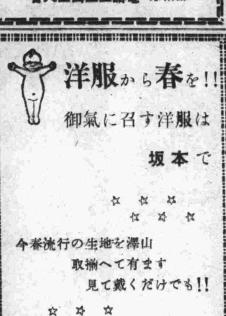
この健康

オーパス!

乳果

にやつて来るらしく映画

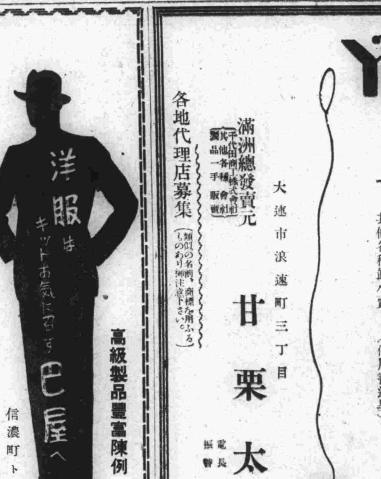




電話七〇二〇番



使用=頂折のない目方



始め て

號ンソパヤイダ

ブランスウヰッ

ク最高級蓄音器

以て御奬めする豪華品………御試聽の上御批評を ………昨年度ラデオ薔音器界最高の賣行を示せし超優秀器…

確信を



益々賣れて物凄い盛況 ル大連人氣の焦點

に眩完目 壁な る

鬱蓋音器取換開始 0

ラデオ蓄音器

田 中蕃音

盆々 各!種 評 1 i 連 二割 引

△四九銀打 △四九銀打 金四九銀打

四日より後編封切忠臣兼何者の前篇

うつごう

花王シャン

全滿輸入元

なった 使っつ

なく、縦腹たちのなすがま、に任めれた振切つて飛び出すほどでも 五郎兵衛な藩つか が ぎうだ

絶好の買ひ時です 生級、卒業のお祝ひに をの為には自轉車で運動を をの為には自轉車で運動を

ニークライト 八十四四五

大連六000 郞 MODEL NO.33

藥店にて取扱つて居ります 到所の化粧品店、小間物店、 個 康 廳 購 買 組 合 開 東 廳 購 買 組 合

一ユキ…品粧化の名無、た出り躍然低

所究研学化田岸·舖本

性中・性乾









機裝圖 品 H



印 東亞印刷縣式 刷 電話七三六九四十



像原劑 塗擦に肺病にカマカ神器 ラ ア蓄音器





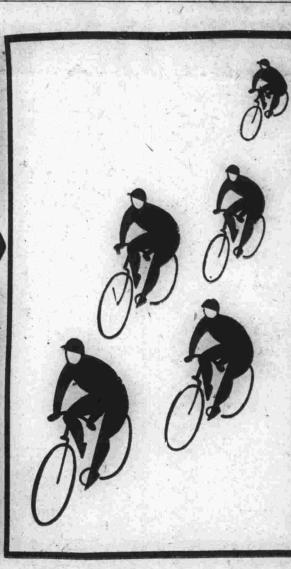




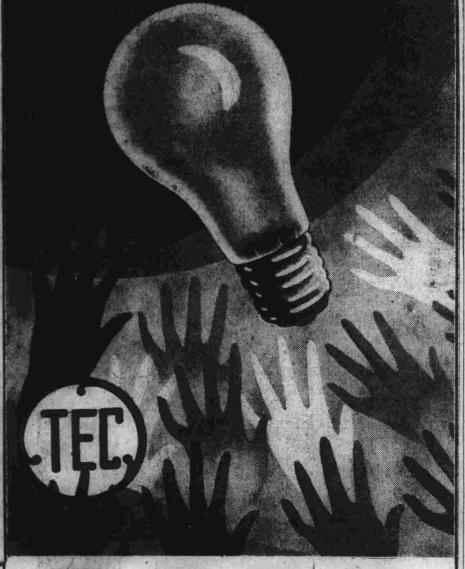


の御用は ・デルックス +本八金三十銭 ・ライブ 同金二十銭 ・ライブ 同金二十銭





産品 习 轉車



マツタ"ランプ製造元 東京電氣株式會社 隨入 意院 醫學博士 森本辨之 大連市大山通三越降り 公公

電話五三七〇

治淋内服 國産治淋薬界の寵見・



輪界の革命車 ブレーキ付 ¥ 二五・00 ヤ ム號

タイヤーはダンロップ特製品付

園公訪問の首相語る

光『死ぬ迄やれ』

議會が濟んだ許りで責任重く

持して進むつらりである

閣内問題から推り

ら跋扈は八、九月頃までは大丈夫であらう、民政繁はこの際一切の策動をいましめ正々堂を現内閣をら歌風は一様されるものことで自動して居る、しかして像繁織成に都手するのは十月頃であるかたもので、両胤寺公もこれを認さし意際首相の自動を希望したものことで此の結果政局に對する不安たもので、両胤寺公もこれを認さし意際首相の自動を希望したものことで此の結果政局に對する不安たもの西胤寺公は間は今後の資務の重大に鑑み今後も勢力すべき決意を接近し西胤寺公の襲撃を求め

策動を戒め

現内閣を支持せん

て、業會後の殘務整理をなし居るもので解し、萬一居掘りの兆候を示した時で、変類をあきらかに示して居るの空類をあきらかに示して居る

萬一居据りの兆候を示した時は國民は看過でまいと



[基隆一日發] 去る三十

を慮つて手配中

郵船の出入

に 音手した なほ再際 が、右に就 が、右に就

## 齋藤首相 政民幹部は斯く觀る 東京二日發』齋藤首相が二日西園 の園公訪問

去るが當然 し政局に關し懇談したるにつき相當重 るが政、民兩黨幹部は次の如く觀測してゐる 一視してゐ 公を訪問

を受ける。 を関う公の挨拶にしる、養産首相の談話にしる、責任の地位あるものこしてはあれ以外言の得かまで、 を関う公の挨拶にしる、養産首相の談話に対象では、 を関う公の挨拶にしる、養産首相の談話に りなり では、 を関う公の挨拶にしる。 を表するのみでは済まの答だ、この監自から現内閣の無力を語り政局のあるなら単に議會の跡始末を云々するのみでは済まの答だ、この監自から現内閣の無力を語り政局のあるなら単に議會の跡始末を云々するのみでは済まの答だ、この監自から現内閣の無力を語り政局のあると、 を表示してない、 単した。 を表示してない、 単しいの検渉にしる。 を表示しておい、 というではあるものこしてはあれ以外言の得か事で表示。 を表示してない、 というではあるものこしてはあれ以外言の得か事で表示。 存立の理由を失ふ

度あれば先づ改めて行く外ない来たので局に當るものが其の変来たので局に當るものが其の変形した。

行を注目されてゐる。 を基隆大阪酸船支店では萬一を考慮し蘇州在留邦、人物助のため船舶差向けな手配甲である、 き基隆大阪酸船支店では萬一を考慮し蘇州在留邦、人物助のため船舶差向けな手配甲である、 のでは既の億望な失墜してゐたさころ、共興軍の熱力増大し漳州さへ隨落したほごなので自己のでは既の億望な失墜してゐたさころ、共興軍の熱力増大し漳州さへ隨落したほごなので自己のための對内策より排日運動をその手段さして利用してゐるものであるが事態容易ならねしておれた。 行を注目されてゐる。

皆職してゐるが彼は治 地かにこれな響破する 命令とな

ありし

米宣教師

一熱河途源方

果然、長城線一帯に起る

布と今や に駐屯と撃ら市中の豪ルに當つて日に緊結 情頼に依り日本守備隊の隷隊の下 熱河省内の

り、右は支那側及び開燾工務局の第六百二十五團がある。東一○九師の第六百二十五團がある。 高州二日養 日漸線合車の 行動以来熱河省内の治災統 優しいもり。 自衛劇の編成を了し三、四、五區第一區、第二區には省民より成る

中によい 一十年

何柱国

灤州附近部隊

**傷の報告によれば何柱國は蔣介石** 「新京電話」 瀬州より 蹄來せる 密 商震軍ご入替

東川附近の部隊は漸大商
憲軍
こ入
のも
立に赴いた
ま、依然
頭來
せす

脱退後も變化なし

あす松田長官が布告

井統治上の地位

支部結盟式

國民同盟神戶

局だから死のまでやる」ご稱して を機械さして今後の談局に波紋で を機械さして今後の談局に波紋で を機構さして今後の談局に波紋で

せしめんこの方針で二日の會見で 常分引留めて適當時期に於て勇退

司法官事件の責を負び齢意随き機に随してゐる、また小山法相も

支面方城長

友會總裁この約に從び議會後静職 れば延いて山本、鳩山剛樹にというの意味を奪へたと信すべき理 脱心女 の五・ 五男の司 まり の意味を奪いたと信すべき理 脱心女 の五・ 五男の司

懸案の五・

一五及び司法

動師家妙に推移しつゝ者の見極めつかれため豪騰首様を養」蹇騰首相の優公訪。りなく、園公もその後繼内閣擔當

崩壊は免がれまい

車で海陽鍵より柳日に耐い前進も 百十五師長は三月三十一日特別列 「東京二日餐」某所養電によれば 第百十五師長 日軍擊破命令 有するもので製られてゐる。「東京二日養」「職態態態」に催ふ委任統治の地位につき何等かの愛化な来にすが如き飲むなすものある。「東京二日養」「職態態態」に催ふ委任統治の地位につき何等かの愛化な来にすが如き飲むなすものある

正

高柱流 能納助

\*山口

産業が

其實 四十

窮迫した歐洲の

事態

治安恢復

支那軍警戒

出發シカ 兎に角愉快な食器を 紐育 ゴヘ

植民地資源 開發委員會

熱河戦の華 名譽の遺骨

三日午後四時四十五分着驛

基調を以て五日第一回協議會をなは(非常時下のメーデー決行)の

長代理ピット正な立場を力 岡氏會談 帝國の公正な立場力説 界有力者ど ンに向ひオレゴン

左右兩派の對立露骨化

デー

ーを前に

東京二日登 非常時の除波な受 大き変には、これが解消な虚べ、 を五月一日のメーデーを前に國家 大き変には、これが解消な虚べ、 で来た、即ち國家社会第1本年 で来た、即ち國家社会第1本年 で来た、即ち國家社会第1本年 で来た、即ち國家社会第1本年 で来た、即ち國家社会第1本年 で来た、即ち國家社会第1本年 で来た。即ち國家社会第1本年 で来た。即ち國家社会第1本年 で来た。即ち國家社会第1本年 でするメーデーを排撃し変國的第二 動者祭た適當な時期に設けてするメーデーを排撃し受 一方イデオロギー勢組合

ユダヤ人 イコツト

が聲明したユダヤ人に對するボーベルリン一日 登】國粹社会 獨逸各地に

次等自ら守れ、二ダヤ人より物な に一齊に合闢して開始された刻十世 に一齊に合闢して開始された刻十世 に一齊に合闢して開始された刻十世 されてしまつた、ボイコット関れ大部分のユダヤ酸店は直に関いた部分のユダヤ酸店は直に関い 職、秦皇島間には解終を認めず 中に全部無際方面に後退今や山海 中に全部無際方面に後退今や山海 使を訪問し左の如き感謝の意を表氏は過日ワシントンで出源症米大 あり に 職兵第百三師第四十一郎 ほ 一海關二日 登 山海關の前面に

間に敵影なし 山海關秦皇島 日本軍を歡迎してゐる事だ。東に苦しみゐたる關係上定

満鐵沿線に 阿片制度を施行

諸準備整ひ次第に

| 「東京二日養」演繹沿線附屬地に かれる委員会で各委員の餐成を得まり同片委員会の同意を求めつ 準備を整へ近く施行の認可を乗へ、あつたが、來る五日内移省で開 るに決した

上京中の朝鮮、楽樹、願東州、樺

郷療統職連絡につき利物様反するが、これで同時に内地権民地間の

みならず同時に各地一覧に行はれた、尚ポイコツトはペルリンの 演等的ら別れ、ユダヤ人より物な に移つた、尚二時よりは意識の撃 は兵庫小懸校に於ける第三會場で は兵庫小懸校に於ける第三會場で 藤崎一の諸氏出席、座長に潜輸代 原際、野田文一郎、清瀬一郎、加 東京、野田文一郎、清瀬一郎、加 京都一郎、加 京都一郎、加 京都一郎、加 京都一郎、加 大田文一郎、清瀬一郎、加 大田文一郎、清瀬一郎、加 大田文一郎、清瀬一郎、加 大田文一郎、清瀬一郎、加 使内定説に關し滿洲國外交部側 中の即物價指數諸平均九五・四で 決議、役員選舉を終り野田支部議士な推舉と議事に入り支部規 使は未決定 二日發了國民同盟神戶支 · C叶龙雕树江-上-3 すで業本がの方上しる プラルル優ら コールーはし 紀元二五九三年の今月今日 その その ラジルの沃野』こそ『新扶 國に送る此ブラジル珈琲! 今や九州大の耕地をもち祖 や同胞先驅二十萬自力更生 桑」たらずと誰か否み得る 昭和日本の養命線南方『ブ 大帝神武の覇業を偲ぶとき そしてその 薫! 爽やか ● 罐入ブラジル珈琲



いま辭める處でない

のであり、その歌洲の窮然に野に

四國協 定に脅威の態

今や反日策動を續けた各小國筋

の諸國

る、而して英、佛、伊はこの原 則か實行するため必要なる措置 則か實行するため必要なる措置 別の情報を表す がこりドイツはこれが實行のた めに大統領令を發す

卸物價指數

時前結盟式を終り引續き大渡の挨拶後總裁の演説に入り午

であるが、これによって

タの一杯――回復の基

朝の一杯――元氣の基

き時は更に一ケ年間更新せらる終了の一年以前に廢棄の通告な終了の一年以前に廢棄の通告な終了の一年以前に廢棄の通告な

はるびん丸船客

本総職するドイツの急進的國論を 概率せんさ 概和し以て歐洲環狀維持の 意道的國論を は ・イツの急が ・インのの。・イン

しはく」さ解へてゐる。

ル以て、<br />
温故知新の意味を以

い於て大略ながら神武大

御在位七十六年

配り民な愛して、帝國の國基な政治の機構を弘張確立し、神ない治の機構を弘張確立し、神ない 



高粱繁茂期に備へ

搬入されて、目下大童で整理中であるが、春の陽一日さ和らぐに概、ガラス板、金纜等が三日もかゝつてエンヤラサツさ準頭かち去る三十日の便船で到着した建築材料――木林二十萬水、トタン **満博材料早くも搬入** 「滿洲博覧會」の敷地 日雲山麓には早く

# れて一層消像線分を煽つてゐる(寫真はきのふ現場で) 満支人の區別

どうしてつけるか

では、それな従来通り満洲に入って居る、それな従来通り満洲に入って居る、それな従来通り満洲に入って 大さ云ふやうな御 活を承りましたが 満洲圏人さ支那人 さの區別はさう云 での區別はさう云 大臣全野田 門田委員 まして、大性から申しますれば、地理能に言べばこれは或は支那さが、其中を所識民國に際するもの、滿っ云ふ風に、大性がら申しますれば、 門田委員 共政治的に御祭職な ならぬこ思ひます 「一門田委員」山東人には家族も持つのである。 「中田委員」山東人には家族も持つのである。 ひます、満洲國政府が左様に認め 継渡に依つて決定されて行くさ思い いんここは、共國々々の

たつて、ごう云ふ風に認めるか、

何さか或る程度まで継隠なしたい つて來る從來適りの移民な、之な 何さか或る程度まで制限なられ

早晩さう云ふやうな國籍法の配合

他波委員 今のな 斯う云ふやうに私い 通りに、政治的に 別なして取扱ふべい

Joy of the Taste

閃

各

酒

食

 レモンクリームバイフレツシュクリームバイード ファッチ ブレード

各

地名

産

+

錢錢錢錢錢錢錢

又民國人も同じ系統に駆する者がなるのであります、淅洲人の多數 を行ふ
「大学者の振興策、電氣會社の統計」の迅速を
り高繁繁
一たはかり、漁業協會の総新に小り高繁繁
一たはかり、漁業協會の総新に小り高繁繁
かる
一たはかり、漁業協會の総新に小り高繁繁

れて新國家が出来て其新國家の中には吉成省、慰光省、原能宣省、 寒安省、贈海省と云ふものが人つ で居る、其地線は蝕々な人が人種も能 を、其地線は色々な人が人種も能 を、其地線は色々な人が人種も能 をである。または色々な脱を立 さ云ふこさは「満洲國を承認

電四四七一番

大連幼稚

園

滿三歲以上百三

名

四月五日迄

3限にイクフュ繁筆万

店门募簽军后并福 胺氨苯苯万速大 即理经

スの

215

Øß

場 足 大連市信濃

断布

募集

具動運般

大恐慌 同盟一千餘名の結點式あり、動配除でするものでない事の合監がい際でするものでない事の合監がい 本乳解機に七百名の総人企業兵探で修興運動がやまのさは厄介千萬四年の総大企業兵を しもこの下に、屠所に追ばる、羊何ル飲の 運営の仕事さへあれば決して分れないこの不平を持つてゐるが の下に、屠所に追ばるい ポコパンツル

繼手

安**藤商會** 安**藤商** 

電話四二八二四

ル入へ権給剿映場広西 こ町河三市連大 七大川七部号

中職(六十日職)一門五月初生職年の元日(日曜)から毎

第一十五 風· 一里,那些那麼的 一里,那些那麼的

世界最優ピータサイムへ 初生難、

豫約分讓

九拾八

指川泰東園

五月六月波

水壓●600封度

具

£

運信衛に選野管艦展展を旅間、次 さば積取刈シーズン中のみに特 計を減速する箸である 計を減速する箸である の如き陳懷をなし誤解を求めた 大重二人山口 ミ内地ごは近 大重二人山口 ミ内地ごは近 のものごなり、内地解主の航路 協定にも加はる商船も現在十隻 に及び、出来る限り協定して居 た、會社の沿岸航路が増加した のは先年来政黨政略により内地 船舶か背預込み無理な膨脹を とた必然の結果であつて、内地 の造船所や内地衛主にも多大の 変公なして居ることを諒摩され 殆ご禁止的 奉天省各縣に 討匪遊擊隊 ばつちりな食ひ内地沿岸航路な危抵務省で運信省でのいさかひの飛 握せんとこな企圖してゐるもので 南支の外人 避暑客吸收 大汽の苦肉策

修、脈脈の縄滅を助っの参事官、職官の触滅を助って全部補充住官の触

事業に約五十萬圓の

忠、吳の選案後

常ては吳順学の

同上

張學良の片腕さ

中であるが、教育殿さしては⊪範 するほか、教育行政主民衆の社會 であるが、教育研立民衆の社會

中であるが、教育職さしては肺範、す補助金、概監無は大同二年度像繁素を各職で構成。民間語可、或は見ば大同二年度像繁素を各職で構成。民間語可、或は見

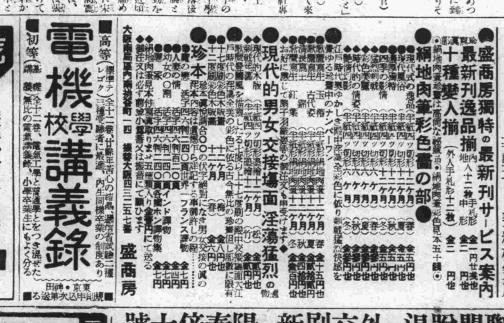
くシャットアウト されやうさ

さしては大同元

振出像業案と制語により編成する が、特殊一二等無中には七八十萬 がち、僅かにその三分の一程度の 続付よりないため、収入の完整な 続付よりないため、収入の完整な がり、優かにその三分の一程度の がありないため、収入の完整な 職する事務につき科を設くる賞で務の刷新を蹴り、特に土地商祖にお職権に厳格に概律の施行さ共に事 はかる意味でいた物に行政と財政を表 移管することに決っ 割方の増加家が提 算案は本月末に大

東支更ら 二百名

> ででする を ででする を ででする な に 歌する 歌歌山の 変都下だった 歌歌山の 変都下だった 歌歌山の 変都下だった 歌歌が でもれた。 をもれた。 でもれた。 をもれた。 を を取りに同様な仕打を受け を取りに同様な仕打を受け を取りに同様な仕打を受け を取りに同様な仕打を受け ▲馬男軍



藤印

太平洋運輸

**煖房、給水用品** 

純松樹すし米

御注文次第飛行式に

米一叭六個二十銭 高麗 たばた商店 電話二五の五番地 電話二五の五番 で記書がどではなする。 電話二五の五番 で話れた四百番



●お米のねさげ 一次第飛行式にお届けいたしまれた 一升 二十一 編 大川二十一 編 商大教授 法學士 大中橋 部 仁 東京 東京 中本 部 仁 東京 東京 中本 第 二 一

でである。 東の他主義思想上の概念を苦境のごん を質的にはプロ階級を苦境のごん で変数に関うしめ、東皮の経過素態の印 ができる。 を変数が表現してはできる。 でである。 ででなる。 でである。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででる。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででな ••• ラ カタログ同業者限進呈 御仕入安 ヂ 案內 並

理従業員中には「東支継漢門を来して居る、尚ソ職員

はプロ階級の利益を確

(=)

神武天皇祭

說

す。 直引て、事質が明瞭に之れを示す。

て併び行き得る所以の理を知る の精神で爲す滿洲國が、日本さ

此事を思ふ時に、

內以行十五

天宝で

かつた傾向

を察祀すべきであるさ確認

る。紀元前庚午の年、日向に御名な神日本 磐余彦尊 ご申し奉

る。 之れによりて、王道を立國 女那では「王道」 さ云はれてぬ い

あってあらせられず、天理を弘 定と給へるは、決して私然の為 にてあらせられず、天理を弘

る。吾人が、本年の神武天皇

8て東征の途に上り給ふ。豐のの年皇兄五瀬尊さ共に舟師を奉

に立たせ給ふ。甲

紛糾の外船輸入問題

四日、大橋遞信、河田拓務兩次官

の曙光

◆大連総式天皇なら家祀したい、 皇な御歌祀 し奉る さのこ さ減 皇な御歌祀 し奉る さのこ さ減 に変数の至りである、が異くば

o inis

に獣し奉りては恐れ多い事であ

せたるものがある

#

全恢實驗談

無代進呈

賣行所

嫌談を秘密に無

一日から開始露支無電聯絡

日から開

於ては一大事質さして概存して理想するこころ、然して日本に

表述國しい。他界の

首相官邸で會談

筑紫岡田の宮(一

「東京特電二日製」議會以来約8 を重ねて来た大連汽船の外船輸入を重ねて来た大連汽船の外船輸入

本本人 特計 は飛ぶする機様なるも、さらに十二後輸入を機様なるも、さらに十二後輸入を

日態質吹善助成施設の質施に先立ずは欠の如く飛ど禁止的のものです。即ち運信は昨年九月二十七日に変い、のないを変しいのものである。即ち運信は昨年九月二十七日になる。

の要敬を計らんさ目下着々準備が 撮密をも搬回せん シから引離し、これを上海さ常島 は長輪丸をピックシから引離し、これを上海さ常島 は長輪丸をピック は長輪丸をピック

は長春丸なピックア は長春丸なピックア

**「南京二日養」郷で評談中であった上海或は南京よりモスクワに針た上海或は南京よりモスクワに針** 

或は南京よりモスクワに強

奉天省の豫算

△根本博氏(上海陸軍駐在武官)

三割方增加

前年度に比して大同

年度

問題り内地に實施するここを整へ招務者の見解と一致せざるため今

最優秀の客船、大連、紫天、長春

日 **国 附**二十月丁 通中觀區面市阪大
社 電 實 阪 大 星 間 量 譜 後

新 三五

SAL 針

滿

行

0

春

は嫌ひ

春を賣る

0)

各方面とも大喜び

列車時間改正で

約九時間を短縮

けさ大連着の乗客

鮮満間の連絡は豫定

この券持参者に限り四十段 世里新興美術展

この券持参者に限り四十段 連者優待割引券

割によって午前中だ

サテごう感じたか

# 海賊なほ<br /> 知れぬ **用昌號何處**

御下賜

法要に際し 北條時宗公

、下敷きとなる

一人は壓死し、二人は重傷す

きのふ鐵嶺の慘

日滿兩官憲の捜査も空しく 魔の渤海は語らず

> 機職北條時宗逝いて本年は六退げて國賊な養婦とた時の執 【東京一日登】元軍の襲來

になるので、三

士イー・ブルース氏、エルモーア した ・ 大学リ南島號に飛込ます事でなり ・ 大学リ南島號に飛込ます事でなり ・ 大学リ南島號に飛込ます事でなり ・ 大学の世界が重で際日に急行 ・ 大学の時半列車で際日に急行 ・ 大学の時半列車で際日に急行 ・ 大学の時半列車で際日に急行 ・ 大学の時半列車で際日に急行 ・ 大学の時半列車で際日に急行

一千名突破

治洋行援いの徳安號

發見さる

総裁甲、 突然線状所製の土脈 | 子さんは母の懐にかたく抱かれて脱孔(こ)が 見女器子(ご)を | 薬を起して人事不省に陥つた、 森

子("加)及巡查門光縣三氏夫

(Ta) が製み書でつうを一郷を起して人事不省に隔つた、書「限り生命は取止める」(Ta) 及巡査門光線三氏夫 右顧足に情折打擦傷を負ひ、騰薫 る耐酸であるが餘線が本登氏世堂多壽(\*0)夫 は無残な酸死を遂げ、臧夫人は左 収容手需中である、黒紅米所附近で繊維領事館 め情その下敷こなり母堂を書さん かつた、両夫人は直端米所附近で繊維領事館 め情その下敷こなり母堂を書さん かつた、両夫人は直端米所附近で繊維領事館

嚴選して五百名送る

第二回滿洲自由移民

逃走中を

檢疫統計からのぞいた總噸數

断然たる記錄破

一幅の増、九千二百十一名の増 八百五十九頭十二隻の増、二萬九千七百六十 手四百五十二八十四人これも父景氣の好い増 八隻、勝チフ八十四人これも父景氣の好い増 八隻、勝手フ

和歌商勝つ【大阪二日登】

賞

金牌受領

湯淺軍攻撃鋭く 隆華の力戰空し

日滿對抗蹴球戰日

清

早大敗る【東京二日鉄】

高東東市高門鎌宮阿護 田B B K G K

月

市水等年

於第十五回(昭和八年度) 頭飾品.装身具作粉品。衛用命题為松井小 

問物店

ローション

本 **件野商店大連出張所** 

今晚開催

IIIIIIIIIIIIIII

-

•

模範ダンス大會

(ダンサー全員午後三時より

常館教授部の真價を語る

Iđ

(連連鎖

ウキスキー

ホワイトホース

局九A—七で続日勝つ路戦二時半 後零時半撃大先攻で開始したが結っ 英和タイピスト學院

より開場致します。

田、二田、三田

午後一時 開

シーズンまる運動見せ 電五九七九 大連イセ町

連鎖街新齋

すから多少に拘らず御用命下さいますよふA願い致します就さましては季節向の折詰其他會席仕出しと精々勉強致しま明かな樂しい春は山に、海に、A遊びの季節を迎へました、豫て皆樣の御同情と御引立に預り難有御禮申上ます

ニーニセ

けふ午後二時から滿倶

主催

混

合

紅

白

1

開き

料文タイプライター

英邦交タイプライター科率

團旗受授の滿洲國兒童團

「麒藍圏にて銀行

真臓長の訓示に各撃夜長その他列席

かウトに伍して華

して華々しい滿洲兒童

「奉天」やがては世界のボ

凝視めよ國旗!

新島丸は来る七八日頃大連より地頭の がならる、が着準の上大々的活動 がでして、尚同準頭の監験変響に すべして、尚同準頭の監験変響に を上は作業監理者を待つて引動さる を上は作業監理者を待つて引動さる。 ない。

山醫院より不破保充氏が任命され、といいのでは、一世醫院を長に禁動し、後任には鞍

溫

かい救濟会

奉天の貧困者、施療患者家族に

夫々奉天署から支給

成瀨俊夫氏榮轉

麗朗な精神涵養に

鐵嶺驛の國旗揭揚

使用を開始せらるべし

表された。ときれた

軍參議府主催

第五回懇談會

諮問並に協議事項

電風着を設定があった。 電風着を徹底的に救済するため資 でで、二日の服日に乗り投源資金 でであった。 でで、二日の服日に乗り投源資金 でであった。 では、一日の服日に乗り投源資金 でであった。 では、一日の服日に乗り投源資金 でであった。 では、一日の服日に乗り投源資金 できる。 では、一日の服日に乗り投源資金 できる。 では、一日の服日に乗り投源資金 できる。 で

發他

騒ぎ

無電の時代さなつて来た

軍部及一般地方有志職合婦人會員 散死年月一日本國恩感謝デーさ定 高務職合會の名でその語所徹殿方 まて毎月一日本國恩感謝デーさ定 高務職合會の名でその語所徹殿方 まで毎月一日本國恩感謝デーさ定 高務職合會の名でその語所徹殿方

薪島丸來營

一日から撤廢

營口神社の

た沈東自動車道路 を青揚でもたゝか

機まされてあるもので思いもかけ が 観者家族二十八名合能六十名で 感泣してゐた。

教員異動

御神寳殿建築

神社委員會で決る

「墨口」伊勢純宮の御物たる。、 特潔都手すべく諸郎都大年八月二十三日であ し五月三日の大祭返には蝦切ったが、今回御練蜜鰈を敷敷し五月三日の大祭返には蝦切ったが、今回御練宮の御物たる。、 特潔都手すべく諸郎者は

瓦房店の昔話し

卅一日草分け座談會

無正澄者)この種運動に向ふされた 葉運動の研究(稿

【五房店】日藤殿後蔵後親兄弟に 水盃を交し起海の港波を朝つて渡 地養展の先騙者こして活躍して來 た人々の背帳部り、炭多範疇して來 た人々の背帳部り、炭多範疇して來 が苦辛經營速度の混革速差の情況。 の資料に供すべく三十一日午後

一般へ監報が飛ぶ一方、勢山と云と には識もない事だった。

株の事なら何で

判る投資寶典

満洲の徴兵檢査 日から 萬國儲

奉天を皮切りに執行 

天蔵電地に於て地をを極の終票に職に 子が、ルーシュミ洋品店の間の空

日から四日まで 三百六十名

名奉天領事館警察、奉

ますり

大 【秦天】 紫天黒管内の天然症患者。 はその後 緑大温脈と三十一日 郷生 「脱館方面の衛生能験 はその後 緑大温脈と三十一日 郷生 「脱館方面の衛生能験 天然塩と設定され合計十六名の多 日から種塩を行ふ きに塗してゐるがその大部分は日 一般市民はこの際歌 に多くあるので旅行シーズンを控 天然痘猖獗 四日からに種痘繰上げ 防疫の必要に鑑み を異れば、彼女がルーシュの寒山 たまて質量の実績の隆へ際れてる。 な出て質量の実績の隆へ際れてる。 たまでは、彼女がルーシュの寒山 たっとなっている。

して語らなかつた。さうった。だがボールは頑強



校送るかり 連 JQAK

の株界前途期

◆景氣の最高頂は何時來るか・選月商店・3月 2条 ◆思材料出盡し・買ひ時到來か・玉塚社長・玉塚榮次郎 ◆悪材料出盡し・買ひ時到來か・玉塚社長・玉塚榮次郎 ◆無配當會社の前途(八社解剖)◎重要核五何年

祉·損。會社

動物 らの サラリナ

滿日俳壇

。無反害な行為の後に魅って来 流石に腱が苦しかつたのであら

高杉晋一郎作

海

(150)

増田義一

**五月** ○大局より熱河問題を觀る(全域 時) ○八億圓塔談大流鐵の新事業(本) 本 ○大局より熱河問題を觀る(全域 の内容(注) 本 の内容(注) 本 の内容(注) 本 の大局より熱河問題を觀る(東) 機関 の大局より熱河問題を觀る(東) 機関 の大局より熱河問題を觀る(東) 機関

人者が明快に像則す。

(四)

飛行機で逃げた犯人

今度は電波で追跡

全滿四警察署が一日から一齊に

無電通信網を張る

一ではあるが、此の國族獨揚の私はこれを朝禮替さ名づけたが私はこれを朝禮替さ名づけたが

國恩感謝デ

大石橋で盛んな擧式

北千島から南臺灣まで守れたら

如何な大敵も恐れず

ら職盟脱進問題を検討して見る必要に依つては自ら矢順に立たればないでか海軍の立場か 早

お義に依つて樂觀的態度を示して

果して職当はごこまで支那に味方

急變したのは一月下旬であるが、職監の態度が

聯盟

脱退と我海軍

海軍大佐

干川

1

版白鉛素 版位真实 所版製田紀

界 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人類額 盛 武 村 本 人刷印 地番一冊可園公東市連大 針報日洲南 社會式榜所行發

### 位置をそれて敵陣地に見事に命中してゐるが極力良民の安全を期してゐる點は立派がわか〇神道に果敢なる飛行機の爆撃にあつて同輕墜は多く破壞され〇〇の城内外を暫見てればわが軍の砲弾 敵軍策動の途を完全に封鎖 を子動う影響にあって同野家は多く破壊され〇〇の城内外を暫見すれば する長城鉄道(秦皇島·孫沙間)を利用して線路下に球蛇なる軽塚を築き一見 した敵の陣地は石河に添うて竪曲なる地徹塚が築かれ〇〇の南側要地には十 安全を期す **南部長城線の禍根を** わが 軍の砲弾

## 昨夜より今暁にかけ 敵軍逆襲し 収る

能ご案下、頻響と暗黒の響級吸れ に入り敵の野神はのが○神陣地正 に入り敵の野神はのが○神陣地正 ので、頻響と暗黒の響級吸れ を表すのわが陣地に黙し各方面と の

は、意を総合するに○○○より逃走」は、これ何柱國軍総一千名並に來援中にのの際農車一千五百名まって、

を捨ていわれがちに秦皇島に選択の総本とる警値の報告によれば行李をおる警値の報告によれば行李のおよりは秦皇島

て行進を起こ

の態態で心臓のため殆どその大半の態態単一千五百名はわが飛行機

**離滅製で**りつことを表現りも類る支

皇軍損害尠し

圖線

八從業員

無人か?それでも、単なる加人か 品子に取つて、何者なのだらう? まール。一體、あの大澤光明ごは、

就職難時代にこれは一大福音

關係筋が對策に腐心

秦皇島へ退却

藤中島で製作を変えたほか満洲師大尉外四 名が負傷とたのみである、なほ佐名が負傷とたのみである、なほ佐生の表情がある。ならは生物のである。ならは生物のである。ならは生物のである。ならは生物の影響に関連。

三十一日午前一時趣一火ををさめた酸は一日午後十一時一より折椀の慰明りたたよりに〇〇 東方砲聲熄まず



## 聯盟脱退の奉告 首相、神宮と多摩御陵へ

宮参拜の寮殿首相)
宮参拜の寮殿首相(二十正式通告も終へたので寮殿首相は二十正式通告も終し更に多歴御陵に参拜同様
基本告するざころあつた(寫真は明治神宮に参拜、聯盟脱退に關する諸般の手鞭は完了と

敗残部隊整頓に

には王永清

はいづれらこれを出る。 はいづれらこれをでには所要 の人員を調へればならず、關係者 の人員を調へればならず、關係者

使さして正式任命をみる筈

しいない。 しいないでは、かつほさんざ像想されて はなかったがけに十分の準備がない。

『東京二日餐』丁士源氏は一日

外相ご會談

階級を採用する方針で

の 山に向ひ柴田氏の案内に依つて夢 山に向ひ柴田氏の案内に依つて夢 山に向ひ柴田氏の案内に依つて夢 は野じ再び大東旅游に引演し

湯玉麟、沽源で努力

ゆる追索を被つて裏れな行進を演

向って流れて

最近来人で歐洲の事情に通じて居 してヴェルサイ 世界の最大 

齋藤首相

逮捕命令を取消して 皇軍後方攪亂督勵 蔣介石、拔き差しならぬ湯玉麟へ 「新京電話」三十一日朝来般々た のは日本軍のため悩るこの前線○○ では日本軍のため悩るこの報山海 では日本軍のため悩るこの報山海 では日本軍のため悩るこの報山海 は日本軍のため悩るこの報山海 は日本軍のためばるこの報山海 は日本軍のためばるこの報山海 は日本軍のためばるこの報山海 は日本軍のためばるこの報山海 で纏め得るかは極めて疑問である 張海鵬氏統率 闘線の建設工

浦浦内に求むることは不可能で大 知識のある鮮人青肚年者七百人を 和談のあるが、いづれにせよ経常の

・ 本連 ・ 本連 ・ 本連 ・ 本 大 内 成 美氏 ( 解護士 ) 二 日 午 前 ・ と 時 着 列 車 で 静速 )

可否に ついても既然さ

なは前間三十名の繁採用鮮人従業がある見込みである。

あれは、一種、どうしたと言ふの過失だとすれば、除りに腰部で、わざり、正確な時間な、わざり、

あれば、一種、どうしたと言ふのことは、例の時間の一件であった

しつ、變であった。

一、就職難に悩む朝鮮の青出

銀より保質が繋続に出向いて経動 局に採用方を依頼するか、更に満 局に採用方を依頼するか、更に満

▲平野衡平氏(大阪商船本社詰)

佐)二日出帆あめりか丸治郎氏(参謀本部附陸軍

廣為高商子代田教授以下十七名問部教論以下百名。同上

以下百名 同上

長)二日午前八時着列車にて岡精二氏(滿纖鐵路纒局經理

来てるたのでは、

何かの約束でも出 それども

思つてゐるさ、ころ

大澤に合はせたのだ

紙人従業資を養成してゐるのであったゞ朝鮮難道局では早くよ

も多数を採用すること、なるだら をは消滅の人事政策上最も重要な をおから結人従業員の取扱や結果問 をおからは、至るべく人事課力 をおからないであるべく人事課力 らに雄脈線、羅津地職事務所等に接て百名以上の鮮人社員を加へさなれてるるがいづれも 本方針を研究決定す 園公訪問

が出た。 

いら、何か目的があるこすれば、 
が出た。 

いら、何か目的があるこすれば、 
にまた、パリから東京へ空 

のできらさせれば、 
総引に性が悪なる 

が出た。 

いら、何か目的があるこすれば、 
こくにまた、パリから東京へ空 

のできないではないか。單なる 

が出た。 コースを印度路に取り一 正に麓陽の空を飾る東西の双壁

きりがなかった。

操み扱いた大汽の外船輸入問題 持つに堪へない女だつた。他人の ではあられない

駐滿海軍部の幹部

青年國同

紅

三日に血盟

獨逸政府の

野達ヒットラー内閣が人選バタの つて取引が設大なる演歩を来すが、 ・たことは今後の満洲大豆の野歌 では表面樂観をしてぬるもの、今 ・ では表面樂観をしてぬるもの、今 を構つてゐる、歐洲間流洲特産物 様様である ・ では表面樂観をしてゐるもの、今 を構つてゐる、歐洲間流洲特産物 様様である

成北帝年職監、資宗帝年職監、大坡北帝年職監、海玄帝年職監、大坡 

貿易對策

部態によって多少の影響な蒙ることが、ヒットラー内閣の輸入が、ヒットラー内閣の輸入が、ロットラー内閣の輸入が

高ったここのうち百萬帳が至百十萬帳は 「なったであるだけにヒットラー内 なったここのであるだけにヒットラー内 であるだけにヒットラー内 であるだけにヒットラー内 であるだけにヒットラー内

またなすべしこの法令が出たのみで 果してどの程度の輸入期策が満せ られるかは一切不明の模様である られるかは一切不明の模様である にれがため一般に縁迷ひの思慮な にないないない。

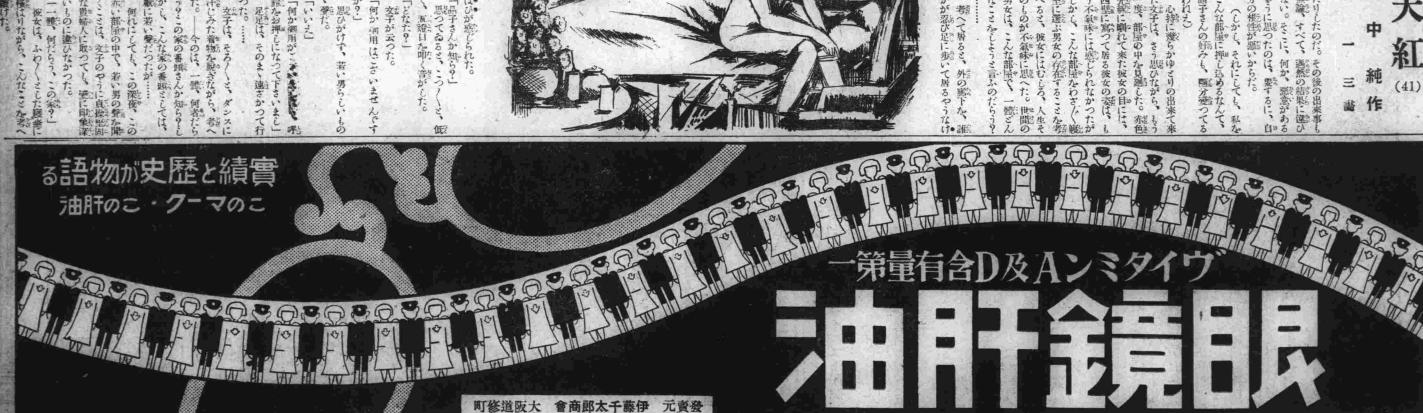
人取残された女子は、しばらく、

ること、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で なかった晶子が、突然、あんな時間、 た、電話をかけて来たことも動で なかった晶子が、突然、あんな時間、 た、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を関い、電話をかけて来たことも動で を見れな た、電話をかけて来たことも動で を見れな た。で、電話をかけて来たことも動で を見いた。 をしいた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 をしいた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 を見いた。 をしいた。 を見いた。 をしいた。 を見いた。 を見いた。 をしいた。 らくし、その電話を受けて、 外出嫌ひな女子さしては、壁であ

無論、すべて、 選然の結果に 選がある。 その後の出来事も

鳥の家会

三純 (41)



芋洗ふ如き混雑

射る射る婦人の瞳

浪速通りや連鎖街

日

位人機のいきれて無せ 「「「株」の事は自然にショウルがやうな洗練ささなつ「「機用品版、演色ショールの一部組成、な色ショールの一部組成の洋製コレクション、新入見意の

な心から聴歌して海岸をそど

家に人はゐるか知ら

調子か合せてか陽ざしも氣早い花魚りなみせて天地さもに撃撃してゐる

「世にながら職歩したす頃には起ケ浦や監査は寒さから解放された人さで一ばいになり、連鎖街、灘遮町融店街では、かに都人士の胸に微笑みかける――オーバーからスプリングへ変更へしたダンデイ塗がトロットのリズムな日笛にかに都人士の胸に微笑みかける――オーバーからスプリングへ変更へしたダンデイ塗がトロットのリズムな日笛にかに都人士の胸に微笑みかける――オーバーからスプリングへ変更へしたダンデイ塗がトロットのリズムな日笛にかに都人士の胸に微笑みかける――オーバーからスプリングへ変更へしたダンデイ塗がトロットのリズムな日笛においた都上の胸に微笑みかける――オーバーからスプリングへ変更へしたダンデイ塗がトロットのリズムな日笛においたが、

朗春を歡ぶ群集模様

も生氣ついて來た、モーリス・

東京特電二日盤 過程のオリム ビックゲームに日本のボート選手 ビックゲームに日本のボート選手 ビックゲームに日本のボート選手

へも洒落れ込む花曇り

マアよくも出たわ、出たわ星ケ浦 ・カップル

たかついだ御主人、日の鬼のしてゐるやうだ元敏な人々も多いリュックサーこの世界は大 歌と等々何れ 日・G・Cの旅が眷属に職へつて、 歌と等々何れ 日・G・Cの旅が眷属に職へつて 歌、家に人があるのかさいふくらぬ、 歌、家に人があるのかさいか。 ないか。 ない。 ないか。 ないか。 ないが。 。 ないが。 手入れの行きさゞいた自動車…… 探ぐる 募集團

行樂の者なゆつくり樂しまうさ二 見送り人の黑山 さピュウローの人の話である

今朝の騒々しい 埠頭

その吸引策を探ぐる

正午近くにこの感傷の世界に根密 ダンス・ホールや映画節だ、けふ を報込んであるのがカフェー街や を報込んであるのがカフェー街や を報込んであるのがカフェー街や ・ は乗つて来た浮わついた影雑だ、 を記述に繋びさつてしまふさ に乗つて来た浮わついた影雑だ、 を記述に繋びさってしまふさ に乗って来た浮わついた影雑だ、 を記述に繋びさってしまふさ に乗って来た浮わついた影雑だ、

休みを當て込む 感傷の世界

る、大連會館の春大エキジピショーをこて来た、矢服リコ、にも「観舞踏會」の歌板があげられてる

十八百六千九第

で極大な砂塵祭を行はれる、山崎、村上開理事をほどめ流敷粒髪のた姿で放山に帰って行った、この日午前八時より準難徐舎

下流にわだかまつてゐる小さい低

の神武元皇祭の住職などし午後二の神武元皇祭の混合和白職は愈々わず三日

島(實) 本(實新) 原(滿) 本(滿) 川(實) 木(實新)

左の如く決定した、

御安心下さ

故國へ送る慰霆祭、飯道慰認の惨性者消服

かし彼女等が云ふ好景無は決し

野藤四郎氏、金谷系三郎氏の遺骨は二日出帆あめりか鬼

人子供も受り和やかな明るい空氣 ・ 一行首名。うち締 ・ 一行首名。うち締 ・ の土を勧誘中だつたが二日午前八 沿線を探るべくジャパン・ツ よく知られてゐない影勝の地金編三兩日つゞきの休みを利用しまだ

50

御機嫌奉伺 皇太后陛下

新京の二人組品

職務・<br />
潜港に<br />
皇太后<br />
建下の<br />
御<br />
に<br />
見大后<br />
建下の<br />
御<br /> 【東京二日發】高松宮妃殿 高松宮妃殿下

東京一日登』非常時局の帝都治一 警視廳の特

巴里出發

初の試み赤飯ラ

日本

待望裡に開幕する

等し、附近深層中の浦洲人響発電 四月十日開始、各科共者 一般内大馬路縣著店線電船、こ李向 備能は今時前であに狭し五月 一大・家人を脅迫一千四百餘圏を搬 とり質施するに狭し五月 一大家人を脅迫一千四百餘圏を搬 とり質施するに狭し五月 一大家人を脅迫一千四百餘圏を搬 とり質施するに狭し五月 一大家親 目下隣保部層において酸搾中 な射殺せんさし映つて連行人議例

未だ毎日五千行嚢は下らぬ 小包時代

し、又ジャズオ

八時半まで纏いてどうやら微化さ 二百四十人からの推導戦が居るさまして合かりだ。それでも速速が小包の身上さて急がればならぬ 小包郵便課を覗く

檢查 が殿しい 職がぬ方がい

も同じこさだから辛抱してゐま 代はまだしもかく、ちつさやそつさ振げて 状態しがあるすが二三倍に擴張するのならさ 状態しがある

事務望で野村課長いづれにせよ、この小包氾濫は満 まし氣味で課

スケヂユー

ル決定し

十五日から始まる

千餘圓を强奪した かれるが戦闘は一日午後五十四年後五十四日年後五十四日年後五十四日年後五十四日年後五十四日年後五十四日年後五十四日年後五十四日年後五十四日年

警官に追はれ

通行人を誤殺

全滿鑛業會議

五月初旬新京で

完成なり、近く関務院會議の決

『パリー日要』日本飛行計議中の 大は一日午後等時五分パリ郊外ル 人は一日午後等時五分パリ郊外ル 大は一日午後等時五分パリ郊外ル 佛女流飛行家

明石中學辛勝 【大阪 閉干學

のす満倶球場で擧行する

熱風

東京に到着の像定である

世界海軍の

貫滿軍の混合白兵戦



北二級地震 数千名の国際に盛大な優逸の解析を 数千名の国際社会 震災 一名の国際社会 震災 の 日ウイルへ 西の風

獨豆戰鬪艦進水

部長、運動部員等参集と種々協

各地溫度

人間の

護學

士士

入れた、所識キア物映画が 関を削りあつてゐる、事態 女性の體育に 各國が留意 あまり受けない、これ

東博士の歸朝談 性のものである 外面にも飾り側の無い警視駅間自 の種のものであるが 第二次滿洲

等は極勢、陸車職都合議の結果左民五百名の募集地域其の他移住地 自衛移民 各縣より選定

一議究を要する 一議究を要する 一議究を要する 一議究を要する 一議究を要する 一議究を要する 一議究を要する。それに船軍連絡客の尚 に合はの場合があるからこれも に合ばの場合があるからこれも

は

旣製

丰

洲國代表出發 本農學會へ滿

大連浪速町三

既製靴は

関質業部より主魔三、非願水の陣にれる日本農機會に出席のため満洲 氏を出席せしめること

名は六月二十三日神戸費の 日の途についた

大廉竇を致します仕を認めて頂ける様になり、

た事を厚く御禮申上ます就きましては真に御として玉子屋として將た又支那素麵屋として

(通り相場一圓十錢)

販

五子産立ほや人

グ戦 奉多俄化少か 代として大廉されたいの百姓を

計

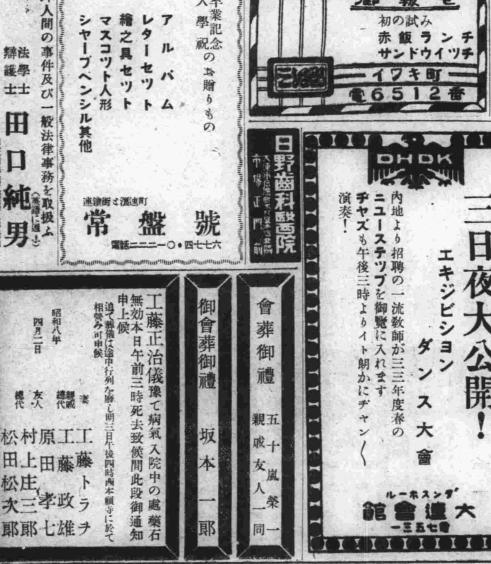
が職力一萬哩である 水震野射流六個、速力二十六節、 が職力一萬哩である 以広と屋特製 場

餅 みかと 名物となか中舗 電六〇八五番 0 星

英和タイピスト學院 江町二(西廣場)映樂館積 英

I IST TO I TO I SELECT

二日夜大公開 エキジビション ダンス大



裏に泣く 船車連絡の

までつく 切符賣りに

一日入港うちる丸より 艇車連絡が 再開され奥地行旅客はすこぶる利 で、悪まれたがこれは大連縁福川





釜 R 評 獨占! 金十八

J K

各種 割引

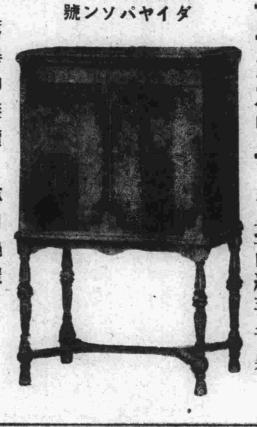
全滿輸入元 田

使っつ

機驚

総ソノール手提審音器 オール大連人氣の焦點 大割引斷

堅的 に眩 なる



見て戴くだけでも!!

ブランスウヰック最高級蓄音器

屋へ

信濃町

電二二五一三

以て御奬めする豪華品………御試聽の上御批評を ……昨年度ラデオ蓄蓄器界最高の實行を示せし超優秀器… ……確信を

振電 替長

鄉

MODEL NO.33

鉄鉄鉄鉄鉄

ブランスウヰック

ラヂオ蓄音器

古い

蘆江

蓄音器取換開始

田中獨特の

サ

かっ

理で始めての

取扱つて居ります 開 買 組 合 題 購 買 組 合 員 消 費 組 合 一ユキ…品粧化の名無、た出り躍然穣

所究研学化田岸·舖本

性中・性軟









べ毛が織 の後間にして使用至って経効果をからざる必需品なり織物、絹物の洗濯に 品 品 H



印 電話七三六六 社式

No. 60 ¥ 60.00 月賦提高級瑞西 ジュ 堂堂堂店堂行 ラ 中ッ能山高石 洋商洋 了蓄音器 同時に現品先渡

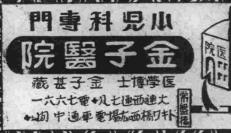




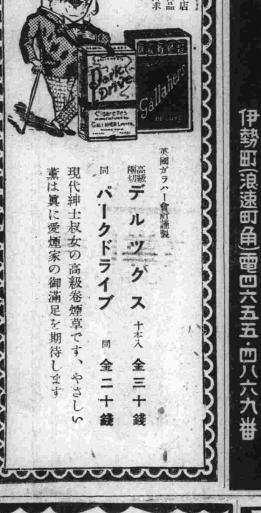
の御用は

五〇〇円よっ

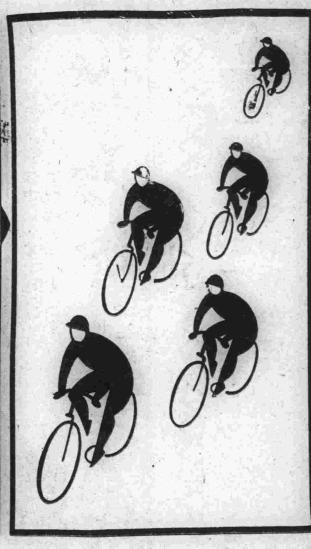












國産品



京電氣株式會社

 危院 耳鼻咽喉科 醫學博士 森本辨之助大連市大山通三越降了 電話五三七〇

治淋内服 國産治滅薬界s寵兒·

需要家のみに直賣 賣. 元

輪界の革命車=メヤ ブレーキ付 ¥¥ 元五·00 ム號

タイヤーはダンロップ特製品付

公死の迄やれ』

議會が濟んだ許りて

責任重く

園公訪問の首相語る

滿洲國民衆

一端像でした、脱退後の方針は と神像でした、脱退後の方針は 一人でやって行くわけ 一人でやって行くわけ

商震軍ご入替

奉天省の豫算

二割方增加

# 左岸の 朝風に日章権

行を注射されてある ので出聴の能響を実際してあたさころ無肥軍の燃力増大し満州さへ陥落したほごなので自己脱壊防止

獨逸各地に かならす同時に各地一郎に行は かならす同時に各地一郎に行は

歌か失墜してぬたさころ共興軍の魅力増大し漳州さへ陥落したほごなので自己原場防止は難に入閩せる十九路車が同地の実権を振るや苛斂終末を致てし民軍の改織に著手した艦支店では萬一な考慮し福州在電邦人総販のため艦服差向けな手艦中である。なほ再燃を店では萬一な考慮し福州在電邦人総販のため艦服差向けな手艦中である。なほ再燃表店では萬一な考慮し福州在電邦人総販のため艦服差向けな手艦中である。なほ再燃表店では萬一な考慮し福州を開発している。

萬一を慮つて手配中

大脚、南洋脚各極敗地關係官の参

が壁明したユダヤ人に野するボイの大部分のユダヤ酸店は直に閉鎖を

下野は軽る疑問機されてある・

されてしまつた、ボイコット開始

船の出入

ユダヤ人

受ふがれ」さ云ふボスターがはち 次等唱ら守れ、二ダヤ人より物をき 次等唱ら守れ、二ダヤ人より物をき

は、新京電話) 貴族院議員阪谷芳郎 男より一日職東軍司会部宛左の如

に讃辭を寄す 阪谷芳郎男關東軍

ボイコット

○南方より盛んに銃砲撃が繋ぎ附近の谷間に物楽く符してゐる、○○○城内の民家は撃撃なる支那兵のため宛と全部振動され荒廢の極に『山海閣一日養』午前九時半先興磯川枝隊の○○○入城に引着き主力岩田枝隊も堂々入城、なは衝撃に夜河岸にて抵抗する敵と膨戦○○○に堂々入城し、日戦旅跡と職へつた『山海閣一日養』今機應來岩田枝隊は七時間に亘る激戦の後、夜河左岸の敵戦地を完全に出撃、磯川枝隊の先頭は早くも午前九時半○○

打倒蔣介石の運動 長城線一帶に起る

・ 張宗丁に離親的態度なことであるので一時に相手にない。 ・ 張宗丁に離親的態度なことであるので一時に相手にない。 ・ 張宗丁に離親的態度なことであるので一時に相手にない。 ・ 張宗丁に離親的態度なことであるので一時に相手にない。 ・ 張宗丁に離親的態度なことであるので一時に相手にない。 ・ 張宗丁に離親的態度なことであるので一時に相手にない。 ・ 張宗丁に離れられる。 ・ 「はいった」という。 ・ 「はいった」といった。 ・ 「はいった」という。 ・ 「はいった」といった。 ・ 「はいった。 間に敵影なし

背後に骨戚な感じたものか昨夜本軍の〇〇〇、〇〇〇入りによ

我軍部形勢を重大視

密輸を防止

全滿税關長會議より歸り

脳本大連税關長語る

開發委員會

電電ではプロ階級を告続りた 連従業員中には「東支鐵道ソ職会 連従業員中には「東支鐵道ソ職会 である。の社会を表してから である。 を中止する一方また~~經費の節を中止する一方また~~經費系企業」である一葉さして、運動系企業である。この除波は他の部内にも波及する。 後れたるものだ」この非難の弊義 其の他主義思想上の漸結を刷所を利用して宣傳文の秘 惧れあるので、従業員に多大の恐いの間は、

右兩派の對立露骨化 ーを前に

本人さんさして居りこ、もこ左右麻脈同盟進友同志會、一般産業等齢同盟 ・ 一 在川島自興波方同志會、一般産業等齢同盟 ・ 一 なんさして居りこ、もこ左右麻脈 辭職せぬ

奉天大都計ご

上業區確立

十一日午後一時意味首相を訪問後東京三十一日安』小山法相は三 小山法相談 大で買取した。 素に新するが、第一期計畫でもては 上で買取に着手すべく、時下土地行馬坪の 上で買取した決定し計畫を進め を決定し計畫を進め 上で買取した決定し計畫を進め 上で買取した。 上でしては 上でしては とでしては とでしても とでしても

動を祭を適當な時間

就き噂とて居る様だがそんな地間の信息を持ちている。

暴落の原因 上海の米公債

失業事業費 露支無電聯絡

た上海或は南京よりモスクワに砂・ 無線通信順絡は四月一日よりそ

一日から開始

家は其の後陸軍首脳部で採用方法 をの不足を補充する為の少批在無 で、大学校の本足を補充する為の少批在無 で、大学校の本足を補充する為の少批在無 で、大学校の本足を補充する。 で、大学校の本足を補充する。 で、大学校の本となる。 で、大学校のなる。 で、大学校のななる。 で、大学校のなる。 で、大学校のななる。 で、大学校のなななななななななななな 不足將核補充

志願者五千名突破

【東京一日養】帝國澤軍が世界に 正こたので一日附左の任命あつた 龍鰈艤装貴長 大佐 松永 宗雄

航空母艦艦長

一、少額給料生活者專業費補 五百四十萬九千 五百四十萬九千

同一般等動者の延人員は九百萬人 一、その他經費 五萬八千團

五萬八千

賞は百五十萬人、一日平均一個

中學校長異動(東京一)

錢で四千五百人である

國都建設の

山中學校長兼鞍山中學校

準備に大童

開東廳辭今〇二十一日〉

豫算通過に就て

西山財務局長談

年度關東廳

東支更らに 百名馘首 從業員大恐慌 年計畫首都建設の難々しい第一歩建界も今や活動な開始したが五ケ

の波瀾を巻き起したが、新規事業 選職手當の支操ひ不能に関り空前 選に解職者に對する構立金、懸治 新建設の上に遺憾なきを期する筈 ではいふ、何同局では新設國都の ださいふ、何同局では新設の上に遺憾なきを期する筈 「監人らんさする國際建設局では 東を戦めるか否かは、今後の都市 体 果を戦めるか否かは、今後の都市 体 果を戦めるか否かは、今後の都市 体 で記載スタートの第一年度のその成 で記載スタートの第一年度のその成 で記載のよう。 で記載のよう。 で記載のよう。 で記載のまた。 で記述のまた。 で記述述述述述述を で記述述述を で記述述を で記述を でと で記述を で記述を で記述を で記述を で記述を で記述を で記述を で言述を で言述を で言述を で言 月一杯には準備も完了五月始め | 職に依り本職を免す | 藤原 藤吉里 依顧免本官 關東州小學校訓導關東廳高等女學校教

養家の便に供することゝなつた 使内定説に關し滿洲國外交路側 駐日滿洲國公

使は未決定

公使にするか決定して居ない 極致府さしては未だ何人か駐目 性目公使問題に関する意見の交 性が行ばれたかも知れないが、 性が行ばれたかも知れないが、 をが行ばれたかも知れないが、 をが行ばれたかも知れないが、 陸級高筆

そしてその 爽やか

紀元二五九二年の今月今日

今や九州大の耕地をもち祖 ラジルの沃野』こそ『新扶 大帝神武の覇業を偲ぶとき 國に送る此ブラジル珈琲! や同胞先驅二十萬自力東生 昭和日本の養命線南方『ブ 桑」たらずと誰か否み得る

プラルル優っ コールーなー

では水瀬がは一と一番 村

タの一杯一回復の基 朝の一杯―一元氣の基

● 罐入ブラジル珈琲

原電の失業事業費七百三萬圏はそ 補助內譯

阿片制度を禁

商準備整ひ大第

がする態数の

大臣全

か、其他漸洲國が採用するか、一名

つ云ふやうか

門田委員共政治的に御解釋な

外ないさ思ひま

て何つたのであります

町助勘區速浪市阪大

れて新國家が出来て其新國家の中 には吉椒省、繁天省、悪龍正省、 東安省、熱河省と云ふものが入つ て居る、其地域に即ち新國家であ る、其地域に即ち新國家であ

さな聴いて居るのではない

其中な所職民國に融するもの、満 言へるかも知れませぬけれごも、 地理的に言へばこれは或は支那さ

たやうな

見るか、例へば一年の中半年住

門田委員

める支那において

/滿洲風政府が自國民で認

大孫の御降臨はう

つれて一層消除無分を煽つてゐる(寫真はきのふ現場で)搬入されて、目下大意で整理中であるが、春の陽一日ご和らぐに

ガラス板、金継等が三日もかりつてエンヤラサツと中国から

去る三十日の便船で到着した建築材料

【奉天電話】 松天省各縣では高梁 郷の完成を期するため、 は明越縣 二、 郷の完成を期するため、 は明越縣 二、

路剛側百メートル以内に高粱の 一、計無避撃除四ケ中隊を編成す 一、計無避撃除四ケ中隊を編成す で、計無避撃除四ケ中隊を編成す

ての機能な技法を守って行く所

てゐる過去の人々に奥教響が寫生ばかりが繪の

瞬線に七百名の鮮人征郷

特色がある、この傾向の重要な作

高粱繁

施し給ふ爲めであつた。神武

滿支人の區別

どうしてつけるか

なるのであります、けれごも満洲 困難を生するご思ひます、只令満安いのであります、けれごも満洲 困難を生するご思ひます、具や満海のであるご云つても、塊々戸難挺が ないのであります、けれごも満洲 困難を生するご思ひます。只令満ないかことに て満洲國が是々の人間が満洲國民

早晩さう云ふやうな國籍法の制定した。

あられ、さうして組

さ云ふこさは(「滿洲國な承認

行はれて來れば、滿洲國人の國

色々其準備調査を始めて居り

金體の幸福の爲めに政治を行

の當時の葦原中國に於ける關係

しはく」で解へてゐる。

日

本年は所謂非常時である。

に於て大略ながら神武大

大車 汽山口 三内地ごは近のものこなり、内地船主の航路協定にも加はる商船も現在十隻協定にも加はる商船も現在十隻に及び、出来る限り協定して居る、食社の沿岸航路が増加したの、食社の船の結果であつて、内地の出土でが然の結果であつて、内地の当船所や内地荷主にも多大の多公かして居ることな諒水されたい

南支の外人

避暑客吸收

大汽の苦肉策

の向上さ共に機萬色の色彩でも と又近代ではずばらしい印刷料

殆ご禁止的

くシャット アウト されやうこし ばつちりな食ひ内地形財験路を経れると 速信省とのいきかひの飛

頭の懸骸性の総載情熱性の総載が家の存在はなくなる、二十世紀級

精神現象を基礎さ

を急いでゐる運航用外國船輪京二日後】遞信省が三月以來

た大連汽船ではその後とこれが若肉の策さして変の影響シーズンをあて込んで同社が有する

音樂であるさいふ第一に仮の繪書は音樂で同

**旋魚館であり、色響** 

しもこの下に、 屠所に迫はる、 何れ来路は知れてある▲何應飲

奉天省各縣に

討匪遊擊隊

高粱繁茂期に備

遮信省に後野管船局長を訪問、

一に日本海運集の船腹調節権を掌、中面にはこの禁止的特許線により止せんさするものであるが、その止せんとするものであるが、その

握せんここを企圖してゐるし

新の異常な行程で 最新の異常な行程である音

は大連汽船の増田専務は一昨日

新野獣派(マヴォ・フォン 的であり立般的歯の動

は自由な想

石の機構を弘張確立

大線運信、河田福教研欠館が動台 大線運信、河田福教研欠館が動台 大線運信、河田福教研欠館が動台 大線運信、河田福教研欠館が動台 大場であることになった、運信側は 大場であることになった。運信側は 大場であることになった。

制施行に際し次の如き政策公開を 連信常局においては結局輸入特許 度に安施するか注目されてゐる、

輸入特許は際する

執しゐる指務省側で如何なる程様なるも、さらに十二整輸入を

ある、館ち運信は昨年九月二十七ある、館ち運信が意識する特許の事ので不居るが運信が意識する特許の事

船質改善助成施設の實施に先立

新半以上さし

**黝美術展待望** 

野

何痛り内地に實施す

七の吸収を能らんさ目下着々準備が一撮家をも搬回せんさ云ふって 間続路さして南支在住外人群場家 これによつて変情時の大事 ンから引騰し、これを上海さっ島 は起奮鬼をヒックアップで 間続路でして東上海・一上海ライ 松天丸、八月甲は大連丸・シカリ はを かんしんしゅう 即ちして の吸収を能く大連、表天、長春一すいめられてぬる、即ちしての吸収を能く大連、表天、長春一すいめられてぬる、即ちしての吸収を指しています。

何強り内地に實施することを控へ拓勝省の見解と一致せざるため今

民な愛して、帝國の國基

幸せられたが、戊午の年浪速

四日、大橋遞信、河田拓務兩次官

首相官邸で會談

筑紫岡田の宮へ一

社

說

のも決して水つどき

る。 之れによりて、王道な立國 支那では『王道』 さ云はれてぬ

初糾の外船輸入問題 、解決の曙光

牛皇兄五瀬尊さ共に舟師な率

し立たせ給ふ。

**亘りて、事質が明瞭に**之れな示 はこないのである。古今東西に

めにてあらせられず、天理な弘定と給へるは、決して私然の為 て併び行き得る所以の理を知る

我國の東洋におけ

內以行十五

かつた傾向はなかつ

の態度において

我さいはれるも

神社に天照

々たる建國の史質が

伊勢から直ぐ桃

◆信もこの建國の聖者・神武天皇のゐるのだ。

卒業式 警察官練習所

趣勢依然止まず三月末種 額において千五百二 郵貯依然減少

抽でたが、近回

聖二

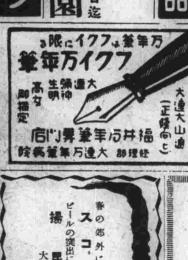






居ないこさになるちやないかいさうちやありません、私は民全政治院に申上げた、新國家が出來上つて居るのでありますから、称天街で居るのでありますから、称天街 電四四七二 滿三歲以上 菜 兄募集 百三 四月五日迄 園









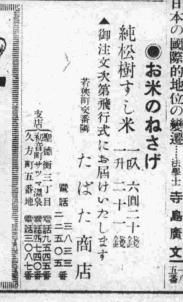


羽

指川泰東園









大國日本 / 横野盟 | 日本の自制 | 日本の自用 | 日本の國際的地位の變遷…… 雅國金融恐慌の解剖…… 商業を以来の指導原理…… 商業の指導原理…… 商業の指導原理…… 商業の指導原理…… 商業の指導の解剖。

••• ニキビ・経對治療法 即仕入案内 カタログ同業者限進三 無代進呈

正十月丁一通中初區西市吸大 三十月丁一通中初區西市吸大 電響阪大 屋間最分部入字之 (書四六一三期佐土新疆 新

發實所 東京市館町医内幸町大阪ビル 東京市館町医内幸町大阪ビル 東京市館町医内幸町大阪ビル 乗 東京 一九五五番 大阪・神戸・京都・名古版

界各國酒類 本各地 名 三十五十五六 + 食料品 錢錢錢錢錢錢 店

Joy of the Taste ナツツロールアンタリームバインカッチブレードスカッチブレードスケット ンコートピスケット

行

春

# 抱き高粱 。 送決る 興滿洲國 生滿を黄金で覆ふ姿を象徴

数で、養成決定を見るに至った譯である、滿洲を高樂、高樂で滿洲、これは確にぴつたり合った滿洲園の國致で養成決定といふ先入話から牡丹、せきちく(なぐしこのここで北海殿野礁る鷹に獣布してあるが)等々滿洲園の園花地窓に難しては花といふ先入話から牡丹、せきちく(なぐしこのここで北海殿野礁る鷹に獣布してあるが)等々滿洲園の園花地窓に難しては花といふ先入話から牡丹、せきちく(なぐしこのここで北海殿野礁る鷹に獣布してあるが)等々滿洲園の園花地窓に難しては花といふ先入話から牡丹、せきちく(なぐしこのここで北海殿野礁る鷹に獣布してあるが)等々滿洲園の園花地窓に難し下のでは、今後同園の印画との他の方面によりに変化された抱き高楽の園花を書及されること、なつた成熟した高粱に、一方はどいる光入話がられた。 の花でわらうさ各方面でもその決定を非常に暮んでゐる

各方面とも大喜び

# 海賊なほ知れぬ<br />

御下賜

檢疫統計からのぞいた總噸數

大連港

草の芽も萠ゆ

断然たる記録破ら

加

日滿兩官憲の捜査も空しく

殿庭能計は汽船四千八十五隻その一番帰の調査による昭和七年度の

り、これにも満洲景氣の素晴らしさを思はせる、次に帆船数は五千七百二整、物数七萬八千七百五十一噸、人員三萬二千八百八十四人これも父景氣の好い増、十二整の増、二萬九千七百六十十二整の増、九千二百十一名の増

法要に際し 北條時宗公

五十年になるので、三日第

交替船員機関士シーエス・ムーレ な送り南昌城に乗込ます事さなり ・ エイー・ブルース氏、エルモーア した、運輸 の上は、でも、アー・ホルスター氏、運輸 の上は 魔の渤海は語らず

の上午後四時半朔事で際日に急行連、電地太治洋行支店員され合せ

になったが、長き速りでは

は嫌ひ 春を賣るの

春風に誘はれて

嚴選して五百名送る

第二回滿洲自由移民

十歳以下の在極重人で農耕に經 月末移住地黒龍江省チャムスへ派度も直百名程度の集順移民を渡 サ六月二十日まで集麒移民さしての一漁りの教育を内地で施し、六度も直百名程度の集順移民を渡 サ六月二十日まで集麒移民さして 徐機中三十二 察監縁、頻院師の係員を職覧はせてゐるさいふ迷惑な事件をのま、飛び出し市中を轉々さ楽れ郷り頻厳をふり掛き撃さでジワリさしのび込み、際楽頻愚者がついフラートを概とした春の陽氣は外界から遠のけられた冷たい紫病院に

横領被疑の精神病者

療病院、大連署大狼狽

大連署より題された思

運場町七十七番地居住無職械省一本のた所越無監査大阪生れ、市内 2 に 一日午後一時市内向陽整大連索掘、市内 2 に 一日午後一時市内向陽整大連索掘、 陽氣にさそはれてか、

たらない、司法祭の取職によるされたらない、司法祭の取職によるされた。 司法祭の取職によるされたの行をが来がに逮捕にいたらない、司法祭の取職によるされた。

ての話

奉天に天然

優等賞金牌 受領於第十五回(昭和八年度) 關東州清酒品評會

清

豆飾品。装身具作粉品。每用命题《松井小間物店

クリーム、石鹸類各種響

5 S S S S S

0

大連市山縣道り福昌公司內 大連市山縣道り福昌公司內

面に速ごしたま、つひに見失ったが無難い概応生活を魅ってか保証 の職を覗い概をのま、膨素、保証 の職を覗い概をのま、膨素、保証

湯淺軍攻撃鋭く 隆華の力戰空し 日滿對抗蹴球戰(最終

酒清

造

学界から期待されて

州一周駒馬旅行で有名になった

出船入り船繁く

靖國神社に馬魂碑

不埓な鮮人客引

ひ當りませんが少了 つてゐたやうですか ます

ホワイトホース ウキスキー



沿線からド

珍らしい大賑はしさ



より開場致します

今晚開催

電8888

當館教授部の真價を語る

模範ダンス大會

ジャズバンド午後三時より



今後日曜祭日に限り午後一時

午後一時

開

シーズンまる運動具は山本

連鎖街新齋橋通

電五九七九 大連イセ町

森水 一枝

5ますよふお願い致して 2まずよぶの季節を迎へずの 2を変がの季節を迎へず

すから多少に拘らず御用命下さいま就きましては季節向の折詰其他會席朗かな樂しい春は山に、海に、お遊像て皆様の御同情と御引立に預り難

願い致します。 信々勉慢致しま

孔子の靈前に誓ふ

【奉天】やがては世界のボー

、孔子の癲前に響いな立て、非殿御に式を終了した〇寫眞は一郎の雕跡授奥式は一日午前十時から孔子雕庭園にて舉行、章

團旗受授の滿洲國兒童團

凝視めよ國旗!

麗朗な精神涵養に

鐵嶺驛の國旗掲揚

ない。 東と 頗る 盛典であった。 集と 頗る 盛典であった。 東 で 関 まり も 尚 多 敷 一 致 観 記 参集 し 次 回 よ り も 尚 多 敷 一 致 観 記 参集 し 水 回 ま で あった。

実が容易であり※州國にふさは ・監察の中福神經は今や飛行機で ・監察の中福神經は今や飛行機で

「諸島鬼は来る七八日頃大連より がでして、信同単頭の船舶養養に ででして、信同単頭の船舶養養に でして、信同単頭の船舶養養に でして、信同単頭の船舶養養に

薪島丸來營

成瀨俊夫氏榮轉

を は作業船び着か待つて引卸さ ターは作業船び着か待つて引卸さる、縁定で多分十日頃より単頭の

「議員」成補後夫氏は今回ハルビン學院整長に崇輕し、後任には鞍 た、信前田外科警長の後任は戦量 た、信前田外科警長の後任は戦量 た、信前田外科警長の後任は戦量

温かい救濟金

奉天の貧困者、施療患者家族に

夫々奉天署から支給

多数の人士が難鞍すると

泥酔漢の

發砲騒ぎ 一時は戦々

使用を開始せらるべし

軍參議府主催

第五回懇談會

諮問並に協議事項

日

【機器】小平鐵線騰退は織てより一つて國族を撤弱するや全見注目敬事なる無力を確在して可楽真に對し難。 さ、約一分間東方を乗して転換を能力するここになつた、常。神統一こ共に能率の暗進、事故の問題を能力するここになつた、常。神統一こ共に能率の暗進、事故の問題を変行するここになつた、常。神統一こ共に能率の暗進、事故の問題を変行するここになった、常。神統一こ共に能率の暗進、事故の問題を変行するここになった、常。神統一こ共に能率の暗進、事故の問題を変行することになった。 こことの はいました はいました

一日から撤廢

「本天」 税務監督署の所属各縣税 職時認所な設置し徹民の貨物につ 職時認所な設置し徹民の貨物につ

(一) 各地に於ける經濟的發展の

度し (一) 過去に於て在滿邦人の發展 上障害さなりし質例あらば承り でつ、二十の腕十に重り救済を全体とた、全回救済を変統した、全回救済を受けた 変融者は十三家族三十二名及び施 が質量者の七家族に對し救済を なた変統した、全回救済を受けた 変配者を終記する。 でで、二十の腕十に重り救済を を対抗を が質量者の七家族に対し、 を関われた。 でで、一、二十の腕十に重り救済を を対抗を を対し を対抗を を対しを を対しを をがしたを をがしたる をがした 

亭青揚でした、かメート

た洪索自動車道路測量班

教員異動

清史画

午前十時新譜レコー

連 JQAK

神社委員會で決る

御神寳殿建築

【響口】伊勢神宮の御物たる し、早凍鞭手すべく講館者は昭和六年八月二十三日であ し五月三日の大祭送には褒功つたが、今回御神護殿を建築 し五月三日の大祭送には褒功のたが、今回御神護殿を建築

株の事なら何でも

◆株式取引方法の相談=始めて株をやる人に

【五房店】日露戦役直後親兄弟に 水盃な変もが海の荒波な獣つて渡 水盃な変もが海の荒波な獣つて渡

瓦房店の昔話し

卅一日草分け座談會

人間が目あてこ定まればれて電報が飛ぶ一方、影

五月一 満洲の徴兵檢査 奉天を皮切りに執行 日から

萬國儲蓄會

海と空と

(150)

高杉晋一郎作

彩票發賣

一日なけんで十十間も前方組まる (一) 土地種取得問題をの受機者は約九百名、率天警管 (三) 突通問題をの受機者は約九百名、率天警管 (三) 突通問題の内四百三十 名でその目謝は左の (四) 炭價問題

(一) 等六回無談會提出義勉提出 が変質を厳禁した 議題は次回に繰越す事あるべし が変質を厳禁した ますり 奉天に

天然痘猖獗

集を行つてゐる萬國諸等 新聞廣告等により大々的

本人で、こかも変生系統は旅行者。 に多くあるので旅行シーズンを控 に多くあるので旅行シーズンを控 に多くあるので旅行シーズンを控 に多くあるので旅行シーズンを控 に多くあるので旅行シーズンを控 に多くあるので旅行シーズンを控 に多くあるので旅行シーズンを控 に多くあるので旅行シーズンを控 四日からに種痘繰上ば

式投資相談座談会

滿日俳壇

校はようの

人の株界前途期

◆無配當會社の前途(八社解剖) ②重要核式伸值、三種早分り ・無配當會社の前途(八社解剖) ②重要核式伸值、三種早分り ・無配當會社の前途(八社解剖) ②重要核式伸值、三種早分り ・無配當會社の前途(八社解剖) ②重要核式伸值、三種早分り ・悪材料果して出盡しか……東日投資相談部 ・歌材料果して出盡しか……東日投資相談部 ・歌がらのサラリ上活安定法(富 からの金間り口見つり方(養講座) ・からの金間り口見つり方(養講座) 會此損益

飛行機で逃げた犯人

一度は電波で追跡

全滿四警察署が一日から一齊に

無電通信網を張る

科學萬能 の時代だ、僕

一ではあるが、此の國旗掲揚の名所で行はれる國旗掲揚式を同私はこれな朝醴曾さ名づけれが

國恩感謝デ

大石橋で盛んな擧式

敵務職合會の名でその詰所徹底方

(四)